

英検3級 3回分から見る授業の戻り先

参照: 2026年度 第1回・2025年度 第3回・2025年度 第2回 / 公式問題の構成と技能だけを比較

先に分ける

短文で止まった原因は、文法とは限りません。知らない語・連語がある場合は、文の形を診断する前に語彙を確認します。

01 3回とも共通する一次試験の骨格

領域	問題数	授業で分けて見るもの
短文空所	15	語彙・連語 / 文法・文の形
会話空所	5	文法 / 応答が会話の流れに合うか
掲示・メール・長文	10	明示情報 / 複数情報の対応 / 理由・主題
Eメール・意見英作文	2	質問への対応 / 意見と理由 / 表記
リスニング	30	応答 / 対話理解 / 英文理解

02 短文で迷ったときの切り分け

語彙

選択肢や本文に知らない語がある → 意味確認を先にする。文法不足と断定しない。

文の骨組み

主語と文の中心になる動詞を見つけられるか。be動詞と一般動詞を重ねていないか。

文の形

助動詞の位置、後ろの動詞原形、to / -ing、時を表す語を一度に混ぜず、別々の小問で確かめる。

03 3回分から見た作問の優先順位

順	診断ファミリー	1問で見る要点
1	不定詞・動名詞	置く位置と、直前の語がどの形を求めるかを分ける
2	助動詞・疑問文	助動詞の位置と、後ろの動詞原形を分ける
3	時制と時の手がかり	現在完了の形と用法を同じ問題で詰め込みすぎない

授業準備チェック

Study Signalで今確認できる範囲と、まだ扱わない範囲

01 現在の公開5問で確認できること

戻る単元	確認すること	授業での次の一手
語順と動詞	主語と文の中心になる動詞	短い肯定文で骨組みを確認
be動詞 / 一般動詞	2種類の動詞を重ねていないか	同じ主語で2文を比較
否定文・疑問文	do / does と語順	肯定文から1か所ずつ変換
一般動詞の過去形	時を表す語と動詞の形	現在形との対比を1要点で
助動詞	助動詞の位置と動詞原形	誤答理由を位置 / 原形に分ける
不定詞・動名詞	to + 原形 / -ing を置く位置	直前の語を手がかりに確認

02 現在は英検対策として扱わないこと

未対応領域	理由 / 今後の設計条件
語彙・連語	文法診断と分離できる語彙診断契約が必要
会話の流れ	依頼・提案・謝罪など、機能表現を別ファミリーで設計する
読解	明示情報・理由・主題を分けた評価設計が必要
英作文	内容・構成・表記を分けたループリックが必要
リスニング・面接	音声と発話を扱う別の検証基盤が必要

03 授業で使うときの3原則

- 1 断定しない

同じ要点の別問題でも迷いが再現するかを見る。
- 2 語彙を分ける

語彙で止まった反応を、文法不足として数えない。
- 3 次の1問を決める

『復習する』ではなく、次に出す1問の形まで決める。